

添付資料：「トークン化導入支援サービス」の具体的な支援内容

(1) 影響度調査と準拠コスト(初期、運用)の測定

トークン化導入によって現行システムへ与える影響度を測定し、以下の項目を具体化します。

- ・ 製品選定
- ・ トークン化製品のシステム、アプリケーションへの適合性
- ・ パフォーマンス測定によるサイジング基礎データ採取
- ・ 運用性の検証試験の実施
- ・ PCI DSS 準拠コスト(PCI DSS 審査コスト、システム回収コスト、新規導入ハードウェア/ソフトウェアコスト等)と運用コスト(PCI DSS 監査コスト、導入ハードウェア/ソフトウェアの保守コスト等)の見積り

(2) 導入計画の立案

上記(1)の結果を踏まえ、トークン化製品の導入計画を策定します。

- ・ システムおよびデータの調査・分析
- ・ トークン化ソリューション導入方針
- ・ システム構成検討
- ・ トークン化導入計画書策定

(3) 実行支援

トークン化導入計画に沿って、トークン化導入プロジェクトの実行を支援します。

- ・ プロジェクト管理－詳細スケジュールの策定支援、進捗管理、品質管理、コミュニケーション管理など
- ・ UAT(User Acceptance Test: ユーザーテスト)支援－テストシナリオの作成、テスト結果の評価など
- ・ PCI DSS 準拠状況のモニタリング

(4) セルフアセスメント実施支援

PCI DSS において、トークン化対応企業に求められている年一回の自己診断の実施を支援します。

(5) 認証審査支援

プロティビティは、QSA(Qualified Security Assessors: 認定セキュリティ評価機関)、ASV(Approved Scanning Vendors : 認定スキャンニングベンダー)に認定されています。プロティビティのプロフェッショナルは、PCI DSS の審査基準に精通しており、PCI DSS 評価機関(QSA)と情報交換をしながら、効果的かつ効率的な認証取得を支援します。